

生徒会執行部、議会、生活委員会などを中心にして「靴下」のことを考えてくれて、ありがとうございました。先輩たちも、「生活のルールはなぜあるのか」を考える学級会を開いたり、今自分たちが問題としていることは何かをアンケートで調査したりする活動をしてきましたが、それが今日、1つ実ったと感じています。自分たちの生活を、自分たちで考え討議し、よりよいほうに改善していくことはすごいことですし、素晴らしいことです。そして、原案に安易に賛成するのではなく「くるぶしにこだわった意味があったのだから、丈まで自由にしてよいのか」と意見を言ってくれた人がいたと聞きました。勇気のいる発言が、さらにみなさんの考えを深める場面だったと思います。そういう取り組み全体に感動しています。ですから、学校としても賛成します。18日から自分たちの決めた新しいルールの中で生活をしてください。

しかし、「自由」は自分勝手ではないことを、今もう一度確認してください。自由は相手との信頼関係と「根拠のある選択ができる=自律できている」ということが土台にはあります。12月中のみなさんの様子を見て、「自由に困ることはないか」「TPO(時と場所と場面)に応じた選択ができているのか」私自身も観察させてもらいたいと思います。また、靴下が自由になったことで、保護者の方に大きな負担をかけるのはやめてください。そして、人と比べる必要もありません。ということは大人として付け加えます。

12月12日、生活のルールを見直し報告できた記念日として、私もインプットしておきます。